
ひこね ひがしおうみ
国道8号 彦根～東近江
計画段階評価

令和元年 6月

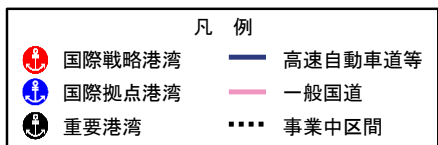
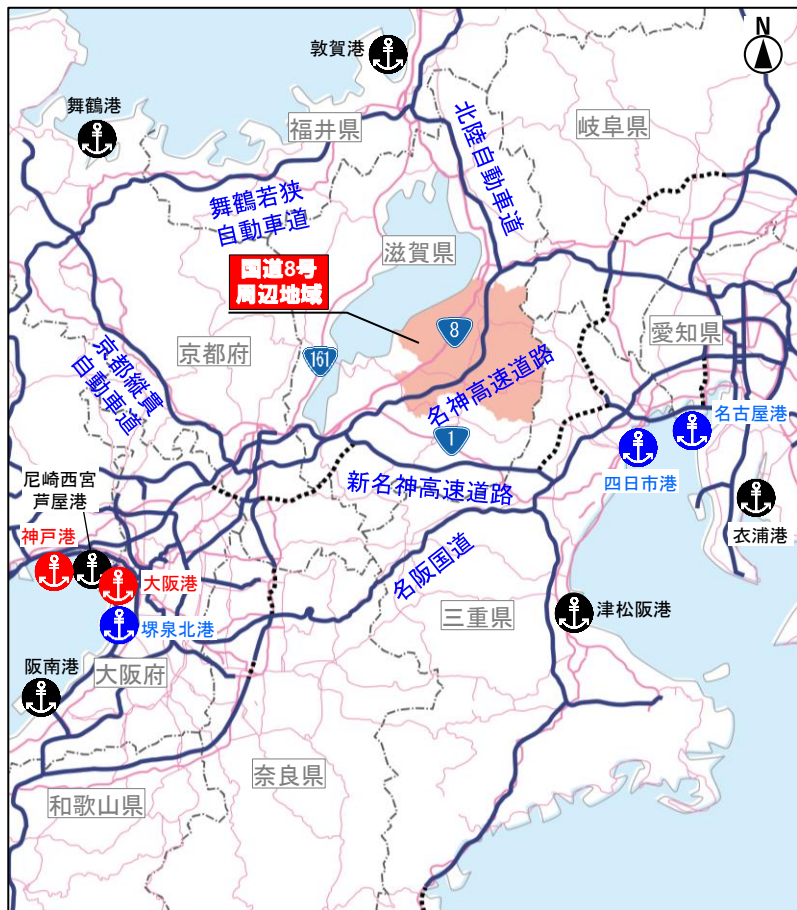
目次

1. 前回までの審議内容	… 2
2. 地域の意見聴取(第2回)の内容について	… 7
3. 地域の意見聴取(第2回)の結果について	…10
4. 対応方針(案)の検討	…22
5. 自治体への意見照会	…27
6. 対応方針(案)まとめ	…37
7. 今後の流れ(案)	…40

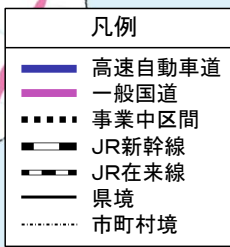
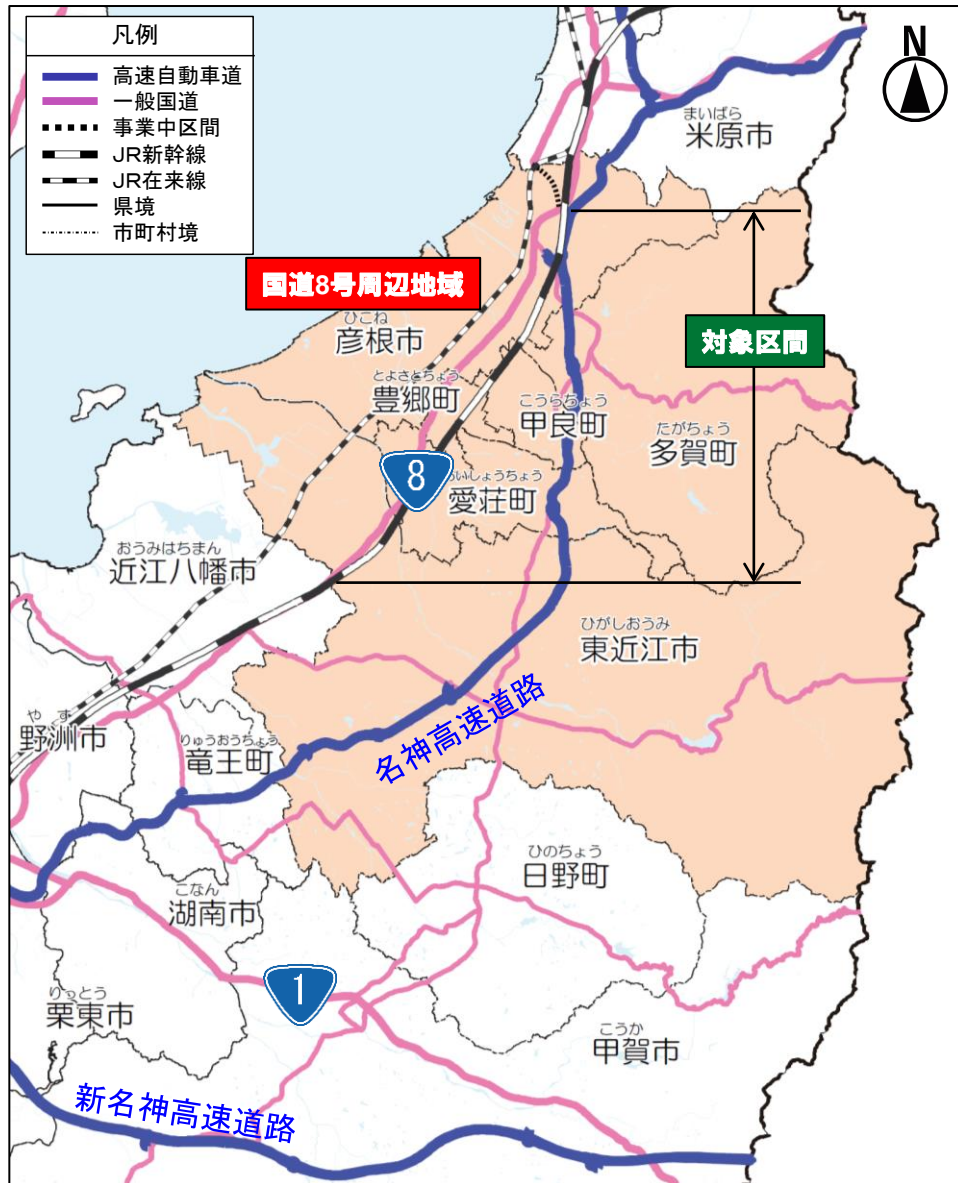
1. 前回までの審議内容

1-1. 評価対象区間

【広域図】



【対象自治体位置図】



1-1. 評価対象区間

【平成28年12月】

第1回 近畿地方小委員会

- 地域の現状と課題
 - ・産業の維持・推進
 - ・日常的（買物・通勤交通等）な渋滞
 - ・事故が多発、生活道路の危険性
 - ・観光入込客数の伸び悩み
- 政策目標案の設定
- 第1回意見聴取方法
- 計画段階評価の進め方

【平成29年 3月～】

地域の意見聴取 (第1回)

- ①地域の課題
 - ②道路交通の課題
- 第1回意見聴取
《アンケート調査等》
- 対象者：
地域住民
事業所
道路利用者
地元代表者等

【平成30年 7月】

第2回 近畿地方小委員会

- 第1回意見聴取結果の確認
- 政策目標の設定
- 複数案比較及び計画範囲
⇒概ね1,000m帯ルート
- 第2回意見聴取方法

【平成30年 9月～】

地域の意見聴取 (第2回)

- ①評価項目
 - ②複数案の比較評価
- 第2回意見聴取
《アンケート調査等》
- 対象者：
地域住民
事業所
道路利用者
地元代表者等

今回

【令和元年6月】

第3回 近畿地方小委員会

- 第2回意見聴取結果の確認
- 対応方針案の検討
(地域の意見を考慮)

対応方針の決定
(概略ルート・構造)

地方小委員会

1-1. 前回審議内容

◇近畿地方小委員会(2回目)の概要

- 実施日時:平成30年7月5日(木)10:00~11:40
- 場所:近畿地方整備局 新館 3階 A会議室
- 主な議題
 1. 地域の意見聴取(第1回)の内容について
 2. 地域の意見聴取(第1回)の結果について
 3. 対応方針(ルート帯案)について
 4. 地域の意見聴取(第2回)の方法について
 5. 道路として必要な機能等について
 6. 今後の計画段階評価のすすめ方(案)

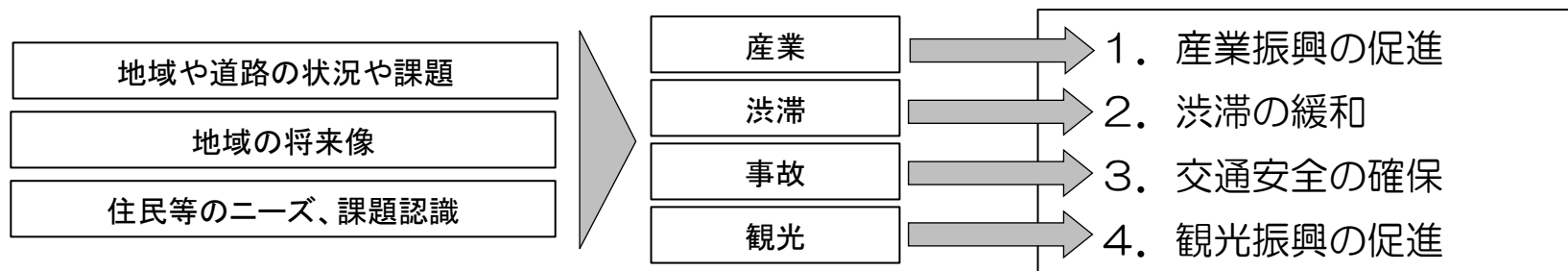
◇近畿地方小委員会(2回目)での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
○ この地区に大きな工場と産業の立地があるのは、やはり敦賀・北陸方面と四日市・中京圏を含む東西へのアクセスを視野に入れた産業活動がなされているからである。この地域内だけの図ではなく、広域的な図を見せられる方が良い。	○ アンケートにおいて、敦賀・北陸方面と四日市・中京圏を含む広域的な図を掲載。
○ 新たに整備される道路の沿道利用は、将来も見越した土地利用計画と調整され、併せてアクセスコントロールすることが望ましい。土地利用計画の話は道路事業者が直接できることではないので、自治体がしっかりと対応を考え、それに見合った土地利用を目指さなければならない。	○ 新たに整備する道路の使い方については、沿線自治体と十分に調整を図っていく。

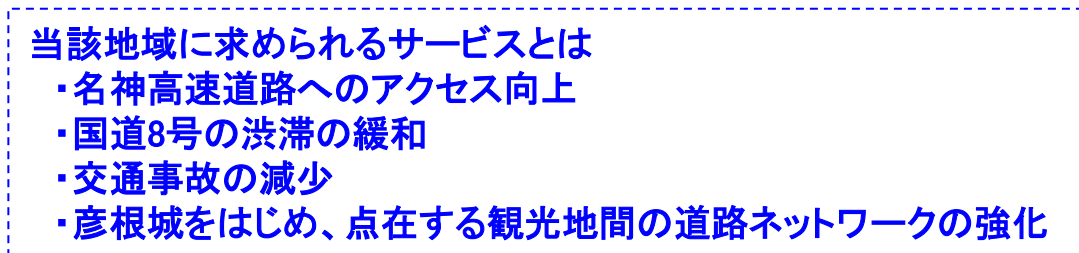
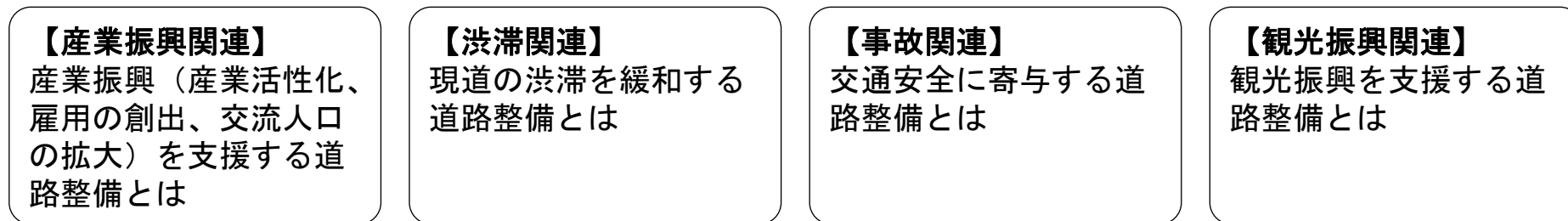
1-2. 政策目標

○ 当該地域の課題を解決するための対応方針を検討。

◇ 当該地域の課題を早期に解決する政策目標の案を設定



◇ 対策案の検討



当該地域の課題を解決し、地域の将来像を実現するルート帯案を設定

2. 地域の意見聴取(第2回)の内容について

2-1. 意見聴取の実施内容

■意見聴取期間

平成30年9月20日(木)～10月27日(土)

■意見聴取

・アンケートによる意見聴取

対象	調査対象者	調査手法	調査規模
地域住民	彦根市、東近江市、 愛荘町、豊郷町、 甲良町、多賀町	郵送配布・回収	15,615世帯 ※無作為抽出
道路利用者	滋賀県等	Webアンケート (滋賀国道・滋賀県・自治体HP)	—
	沿道地域※1	留置きアンケート (滋賀県庁、市町役場、道の駅等 に配置)※2	—
事業所	彦根市、東近江市、 愛荘町、豊郷町、 甲良町、多賀町	郵送配布・回収	1,963 事業所 ※無作為抽出

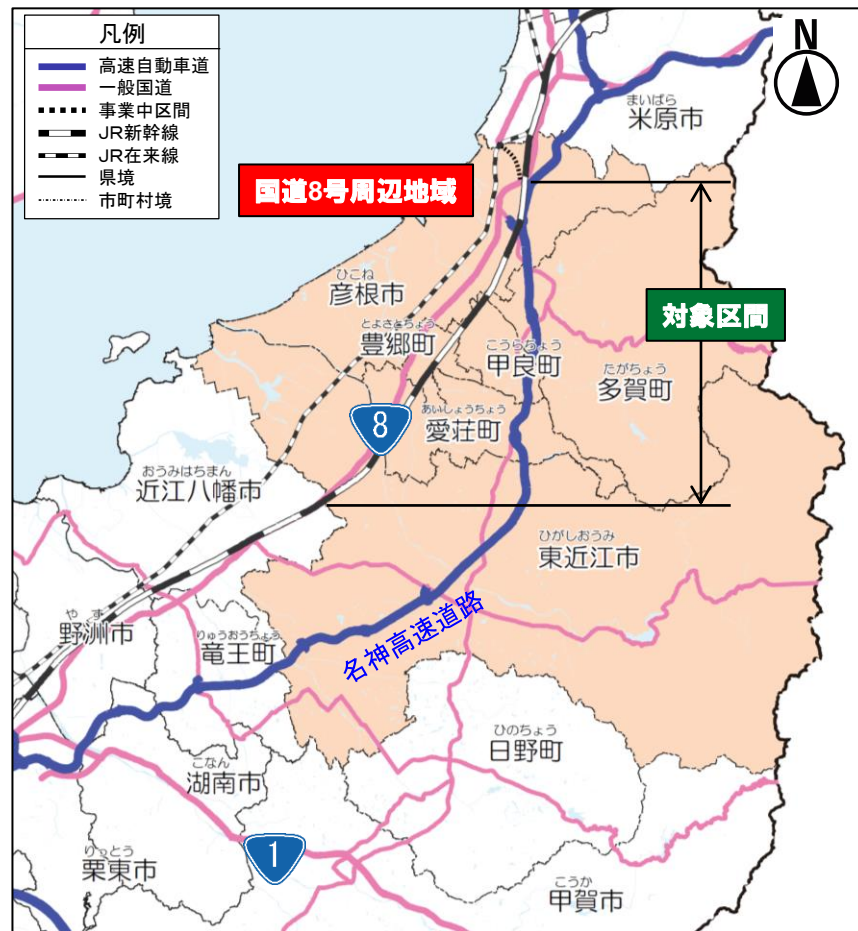
※1 沿道地域：米原市、近江八幡市、竜王町

※2 道の駅：あいとうマーガレットステーション、奥永源寺溪流の里、せせらぎの里こうら、近江母の郷、伊吹の里、竜王かがみの里、アグリパーク竜王

・ヒアリング調査による意見聴取

項目				
関係団体 (計28団体)	○自治体	【7自治体】	○経済団体	【8団体】
	○観光協会	【6団体】	○トラック協会	【1団体】
	○バス協会	【1団体】	○警察機関	【3団体】
	○消防機関	【2団体】		

・調査票(地域住民、事業所)の配布範囲



2-2. 意見聴取の実施状況

■調査票形式、ヒアリング調査の実施状況

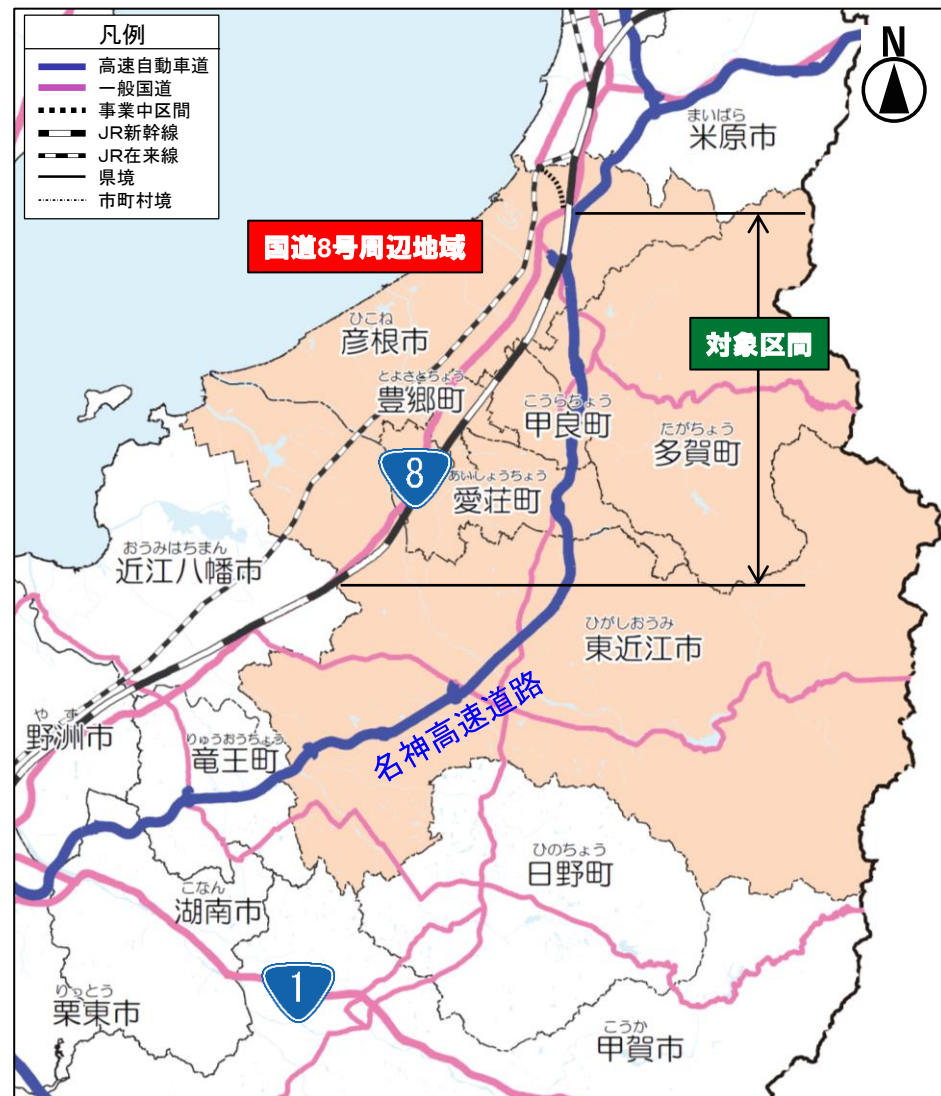
・アンケートによる意見聴取

調査票形式		調査手法			
		配布数	回収数	回収率	参考
地域住民	無作為抽出による 郵送配布・回収	15,615部	4,054部	25%	4,336部
道路利用者	Webアンケート	—	282部	—	
事業所	無作為抽出による 郵送配布・回収	1,963部	570部	29%	

・ヒアリング調査による意見聴取

ヒアリング調査		実施状況
関係団体	自治体	7自治体
	経済団体	8団体
	観光協会	6団体
	トラック協会	1団体
	バス協会	1団体
	警察機関	3団体
	消防機関	2団体
	計	28団体

・調査票(地域住民、事業所)の郵送配布・回収範囲



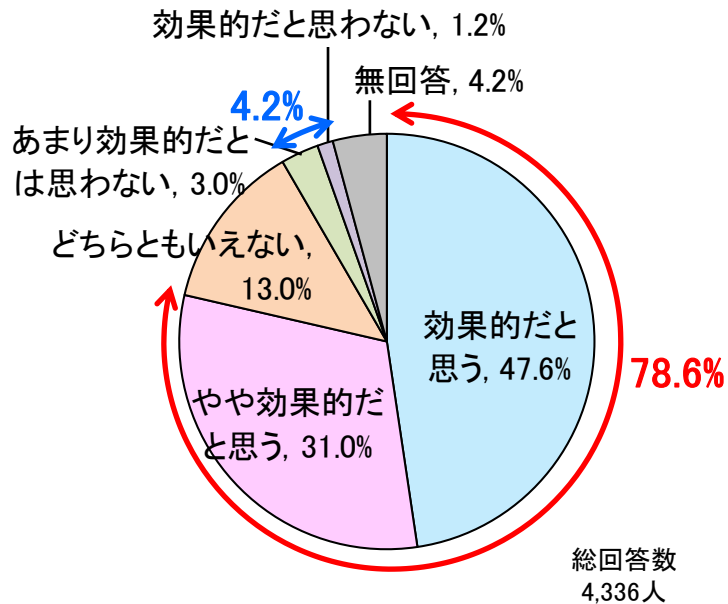
3. 地域の意見聴取(第2回)の結果について

3-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(ルート帯案が効果的か否か)

- 今回示したルート帯案は、「効果的だと思う(効果的+やや効果的)」割合が約8割を占める。
- 「効果的だと思わない(効果的でない+あまり効果的でない)」割合は、1割を下回る。

示したルート帯案が効果的か否か

【問3-1】国道8号(彦根～東近江)において、地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート帯案は効果的だと思いますか？ 回答をハガキにご記入ください。【単一回答】



【問3-2】今回お示したルート帯案が効果的だと思わない理由について、ハガキの回答欄にご自由にご記入ください。【自由回答】

分類	主な意見
現状の道路で十分、必要性を感じない 【19件】	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の車離れや人口減で車の利用が減る。 ・特に不便を感じない。税金の無駄遣いになる。 ・時間によって混雑するだけ、その他の時間は混雑していない。 ・1車線で現状間に合っている。これから人が減る、移転は大変。
ルート帯案が妥当ではない 【67件】	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のルート以外に複数のルートを作って最低でも、現行ルートと併せて3ルート無いと、根本的な課題解決にはならず、現行ルート+新設ルートでは何れ現在と同様のことが起こる可能性を否定出来ない。 ・今後人口も減り、輸送需要なども現在以上に上がるとは考えにくいにもかかわらず、既存の道路を利用しないプランが多く、また道路だけでいても意味がないので商業施設の移転等も必要になるなど、無駄にコストがかかる迂回ルートの必要性は低い。 ・コストがかかりすぎている。転居が必要な家屋も多い。 ・地域の発展、利便性を考えると、新幹線に沿ったルートにするべき。 ・最大の原因は愛知川に橋が少ないこと。橋の増設で交通量を分散したほうが効果的。
その他 【51件】	<ul style="list-style-type: none"> ・部分的な緩和を検討しても、結局主要の8号線に合流するのであれば意味がないのではないかと思います。 ・車に乗りすぎ。個人それぞれ考えないと無駄。 ・ドライバー(人間)のマナー、エチケットがなっていないので、いくら拡げても、バイパス作っても同じ。 ・実際、実現可能なのか怪しい。

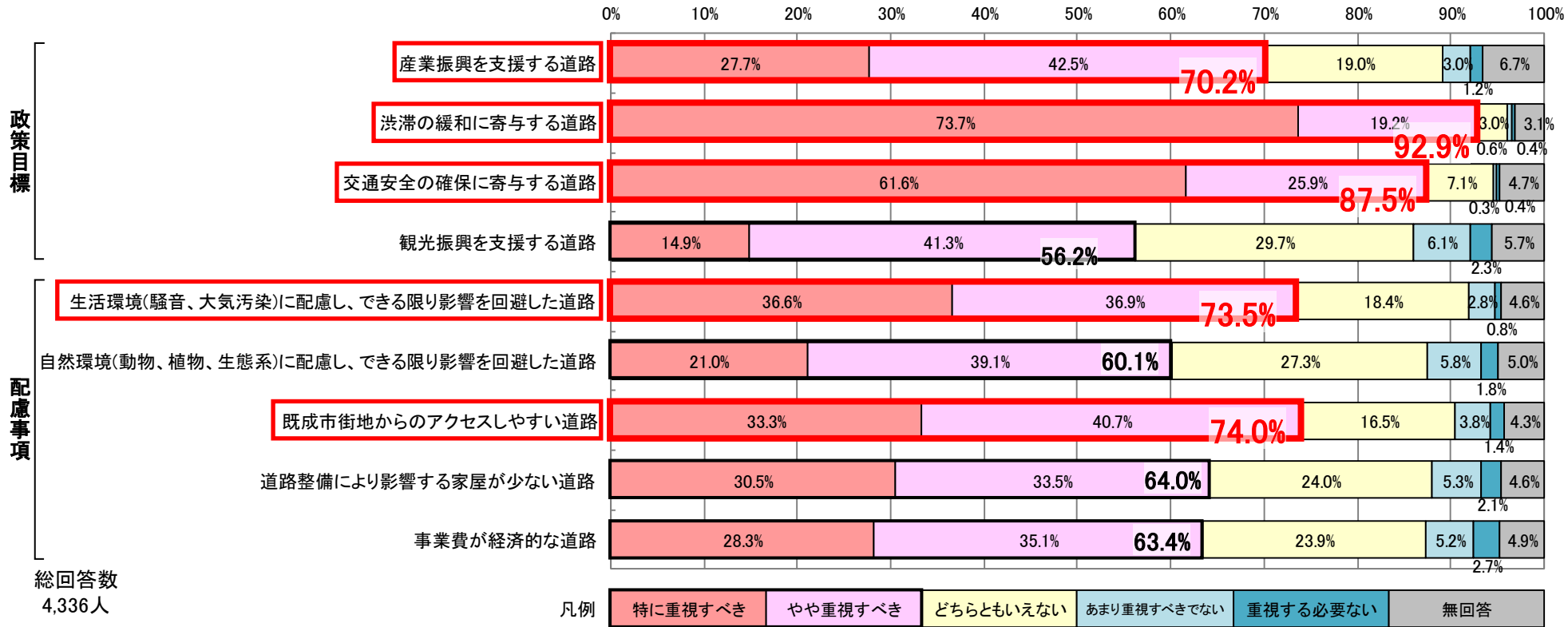
※総延べ回答数:137件

3-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(ルート帯案検討時の重視事項)

- 政策目標については、「産業振興の促進」、「渋滞の緩和」、「交通安全の確保」について、重視すべきとの意見が7割を上回る。
- 配慮事項については、「生活環境(騒音、大気汚染)への影響」、「市街地からのアクセス」について、重視すべきとの意見が7割を上回る。

地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に重視すべき事項

【問4】地域にとって望ましいルート帯案を検討する際にどのような項目を重視すべきと思われますか？
各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。【単一回答】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

3-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(ルート帯案検討時の重視事項)

- 政策目標への意見・要望は、「渋滞の緩和」や「交通安全の確保」に関する内容が多い。
- 配慮事項への意見・要望は、「影響する家屋」、「経済性」、「生活環境(騒音、大気汚染)への影響」に関する内容が多い。
- その他については、「東西道路の機能強化」、「ルート帯」に関する内容が多い。

詳細なルートを検討する際に配慮すべき事項

【問5】今後、詳細なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、ハガキの回答欄に具体的にお答えください。【自由回答】

分類		主な意見
政策目標	産業振興を支援する道路【92件】	<ul style="list-style-type: none"> ・大型車が新ルートに流れるようにし、名神への出入りがしやすいようにして国道8号線の交通量を減らして欲しい。 ・物流が問題点の1つであるならば、物流に特化した道路を作るべきだ。
	渋滞の緩和に寄与する道路【261件】	<ul style="list-style-type: none"> ・御幸橋、外町付近の渋滞解消に最大限配慮した道路を希望します。 ・すべての問題の元凶は渋滞です。渋滞が無くなれば他の問題の対策になります。
	交通安全の確保に寄与する道路【235件】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号線と並行している中山道の交通事故危険性回避を最優先すべき。 ・歩行者(特に通学児童)、自転車の利用者への十分な安全配慮。
	観光振興を支援する道路【15件】	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路とのアクセスも考えた観光ルートにも配慮。
配慮事項	生活環境(騒音、大気汚染)に配慮し、できる限り影響を回避した道路【45件】	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の増加、車両の大型化により、公害(騒音)が大きくなっていることを考えるべき。 ・長距離になっても良いので、住宅街から離れた道をお願いします。
	自然環境(動物、植物、生態系)に配慮し、できる限り影響を回避した道路【23件】	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のためにも、自然を残しつつ、道路計画をして欲しい。 ・動植物への影響ができるだけないよう、検討いただきたい。
	既成市街地からのアクセスしやすい道路【20件】	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に混乱を軽減できるルートであり大勢の人が利用できる市街地に近いルート。
	道路整備により影響する家屋が少ない道路【56件】	<ul style="list-style-type: none"> ・移転家屋が多いと計画に遅れが出やすいので、できるだけ配慮すべきである。 ・家屋の移転が極力発生しないように市街地を通らないルートで。
事業費が経済的な道路【50件】	<ul style="list-style-type: none"> ・税金を使用する以上、できる限りコストを抑えるべき。 ・なるべくコストを下げ、効果の出る対策をとってほしい。 	
その他	早期着工・早期整備に関する意見【78件】	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事情は他県より大幅に遅れている。早急に着工してほしい。
	将来動向やまちづくりに関する意見【71件】	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の利便性だけでなく、新しい街の発展につながる計画を。
	災害・大雨・積雪等に関する意見【65件】	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に交通に影響が出にくい路線を考えてほしい。
	東西道路の機能強化に関する意見【115件】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号にアクセスする道路の整備も同時に必要。
	ルート帯に関する意見【194件】	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知川の橋梁に集中する通行量が分散できるルート。
	道路構造に関する意見【97件】	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の多いところは右折・左折レーンを必ず作って欲しい。
	反対意見【11件】	<ul style="list-style-type: none"> ・これから人口が減っていくのに、渋滞に対してどこまでお金を使うのか。
その他【77件】	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通との関係性(バス・鉄道の利用減少となるのでは)。 	

※総延べ回答数: 1,505件

3-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(自由意見)

- 「渋滞に関する意見」や「交通安全に関する意見」が多い。
- その他については、「早期着工・早期整備」、「東西道路の機能強化」、「ルート帯」に関する内容が多い。

自由意見

【問6】その他、国道8号彦根～東近江について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

分類	主な意見	
産業振興に関する意見【67件】	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の雇用促進につながるよう、工業団地、産業用地を通るルートの検討をお願いしたい。 ・産業振興を支援する道路として1日も早く。 	
渋滞に関する意見【553件】	<ul style="list-style-type: none"> ・本当にいつも渋滞がひどいので、早く新しい道路を作ってもらいたいです。 ・彦根市街地で南北の通過交通が処理できず、渋滞が慢性化しています。新しい道路は市街地を迂回するバイパス計画として、現8号は地域アクセス、バイパスは通過交通と役割分担すべきと考えます。 	
交通安全に関する意見【141件】	<ul style="list-style-type: none"> ・あまりに多くの車両が生活道路(中山道)に進入して、通学・高齢者・自転車利用者との接触の危険性が高い。 ・抜け道として児童・生徒の通学の安全を脅かす車が気になる。交通安全の確保を願う。 	
観光振興に関する意見【23件】	<ul style="list-style-type: none"> ・彦根～東近江は観光資源が豊富なので、喜んでいただき、また来ていただける交通環境の整備を。 ・彦根観光において車で渋滞し、8号線へのアクセスが非常に悪いと思う。 	
生活環境に関する意見【16件】	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝と夜に高速道路のようなスピード車、自宅の車庫の出入りもままなりません。バイクの騒音が特に多い。 	
自然環境に関する意見【9件】	<ul style="list-style-type: none"> ・どの都市も同じような景色になっている。このエリアの自然など特徴を壊さないようにしてほしい。 	
既成市街地からのアクセス性に関する意見【8件】	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町とのアクセスしやすい道路としてほしい。 	
影響する家屋に関する意見【10件】	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートにかかるお家の方は、先祖代々受け継いだ大切な土地ですから、十分な配慮が必要です。 	
経済性に関する意見【15件】	<ul style="list-style-type: none"> ・費用と効果のバランスのとれた道路計画を望みます。 	
その他	早期着工・早期整備に関する意見【301件】	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の整備をお願いしたい。米原バイパスから連続したバイパスを早く作って欲しい。 ・何十年來もの大きな問題でしたが、改善要望の声が行政や政治に届かず、ようやくという感じです。一刻も早くルートを決定し、実現をお願いします。
	将来動向やまちづくりに関する意見【67件】	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、団塊の世代が車を使わなくなれば、車を使う人が大量に減っていく。一時的な改善でなく、先を見た改善が必要。
	災害・大雨・積雪等に関する意見【54件】	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の雪、災害についても考えて計画してください。
	東西道路の機能強化に関する意見【222件】	<ul style="list-style-type: none"> ・南北の道路整備と併せて、東西の幹線道路が整備する必要があると思われます。
	ルート帯に関する意見【286件】	<ul style="list-style-type: none"> ・彦根以外の地域は高速道路(名神)より離れている。県外の方にも便利な道路にして欲しい。
	道路構造に関する意見【147件】	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞の緩和のために、立体交差を多用し、信号・交差点を減少する方策をとってほしい。
	反対意見【24件】	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会で本当に必要か少し疑問に思う。無駄な投資にならないか。
その他【80件】	<ul style="list-style-type: none"> ・近江鉄道、バスの増便を願います。 	

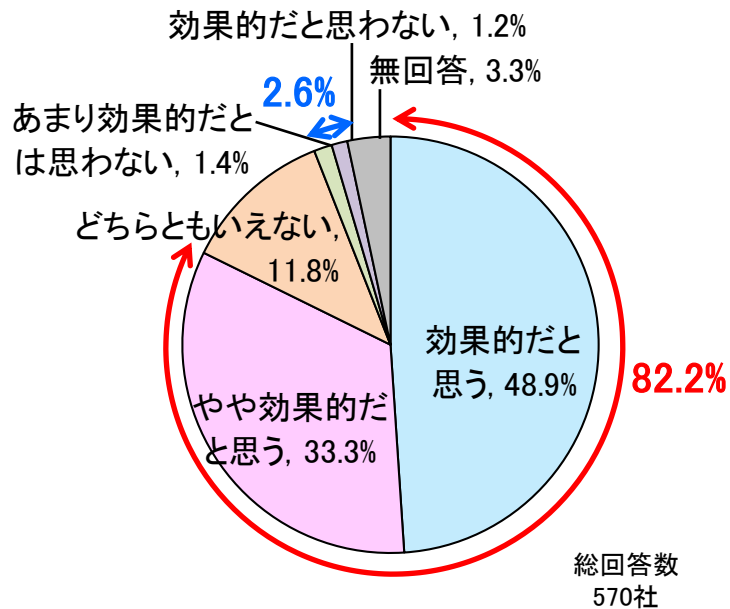
3-2. 意見聴取の結果 事業所への調査票(ルート帯案が効果的か否か)

- 今回示したルート帯案は、「効果的だと思う(効果的+やや効果的)」割合が約8割を占める。
- 「効果的だと思わない(効果的でない+あまり効果的でない)」割合は、1割を下回る。

示したルート帯案が効果的か否か

【問3-1】国道8号(彦根～東近江)において、地域・交通の課題を解消するために、今回お示したルート帯案は効果的だと思われますか？ 回答をハガキにご記入ください。【単一回答】

【問3-2】今回お示したルート帯案が効果的だと思わない理由について、ハガキの回答欄にご自由にご記入ください。【自由回答】



分類	主な意見
現状の道路で十分、必要性を感じない 【4件】	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞頻度がたいしたことではないと感じる。 ・他の国道及び県道がある。 ・地元の人には裏道を知っている。土日は混雑することを看板で告知すれば良い。 ・今のままで良い。
ルート帯案が妥当ではない 【5件】	<ul style="list-style-type: none"> ・分散するとは思えない。 ・費用対効果が無い。 ・遠回りになる。 ・③案(国道8号現道拡幅ルート)以外は渋滞解消にならない。 ・どれにしよう課題は残るし、新たに発生する。
その他 【1件】	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと県下で抜本的な改革が必要。

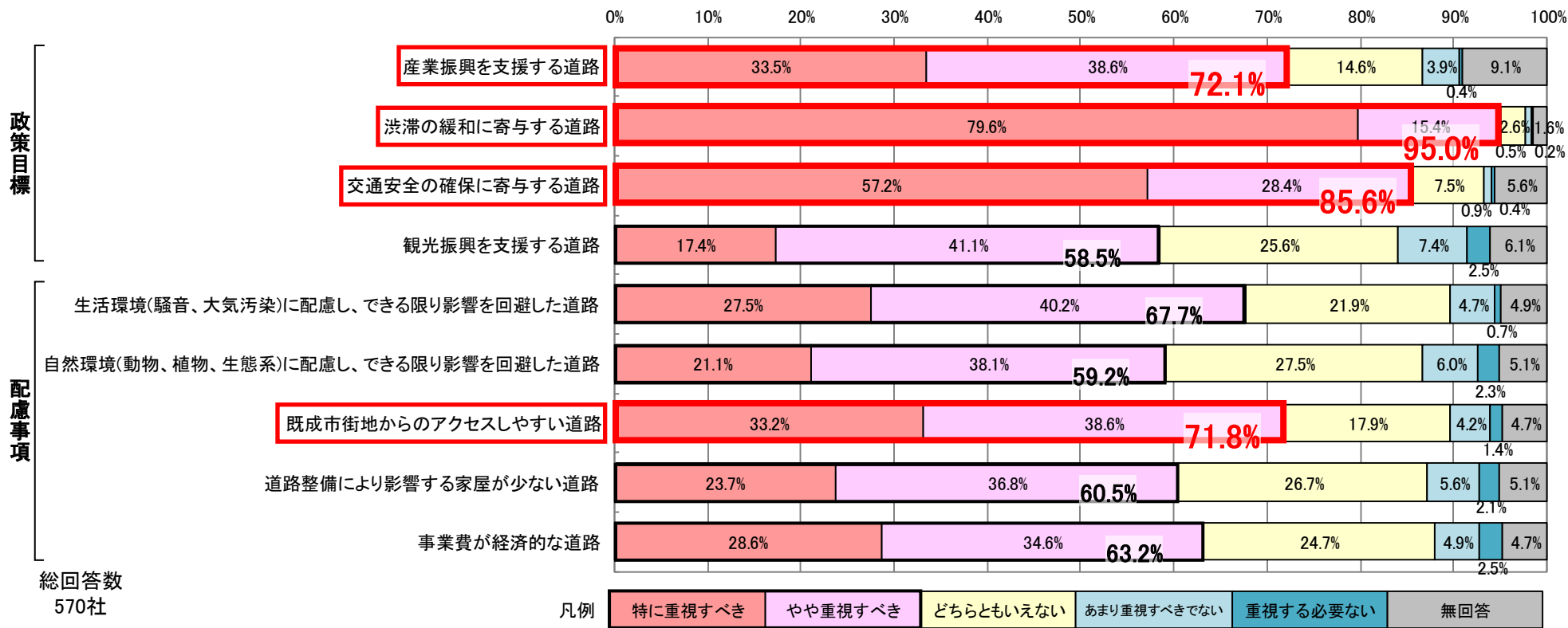
※総延べ回答数:10件

3-2. 意見聴取の結果 事業所への調査票(ルート帯案検討時の重視事項)

- 政策目標については、「産業振興の促進」、「渋滞の緩和」、「交通安全の確保」について、重視すべきとの意見が7割を上回る。
- 配慮事項については、「市街地からのアクセス」について、重視すべきとの意見が7割を上回る。

地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に重視すべき事項

【問4】地域にとって望ましいルート帯案を検討する際にどのような項目を重視すべきと思われますか？
各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。【単一回答】



3-2. 意見聴取の結果 事業所への調査票(ルート帯案検討時の重視事項)

- 政策目標への意見・要望は、「渋滞の緩和」に関する内容が多い。
- 配慮事項への意見・要望は、「市街地からのアクセス」に関する内容が多い。
- その他については、「早期着工・早期整備」、「ルート帯」に関する内容が多い。

詳細なルートを検討する際に配慮すべき事項

【問5】今後、詳細なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、ハガキの回答欄に具体的にお答えください。【自由回答】

	分類	主な意見
政策目標	産業振興を支援する道路【14件】	・観光・生活ルートと、産業ルートの棲み分けを明確に。
	渋滞の緩和に寄与する道路【25件】	・国道8号線、河川にかかる橋付近の渋滞を減らすこと。 ・国道8号線の流入を減らし、渋滞をできる限り無くすよう計画すべきである。
	交通安全の確保に寄与する道路【12件】	・大型トラック等の通過交通を分離して現国道8号線を安全に。 ・特に交通安全に配慮した道路であってほしいです。
	観光振興を支援する道路【5件】	・とにかく彦根城へのアクセスが容易になる整備が望まれる。
配慮事項	生活環境(騒音、大気汚染)に配慮し、できる限り影響を回避した道路【1件】	・生活環境に配慮すべき。
	自然環境(動物、植物、生態系)に配慮し、できる限り影響を回避した道路【2件】	・自然環境は守って欲しい。動物は文句が言えないから。 ・既存の道を拡張し、自然環境を配慮する。
	既成市街地からのアクセスしやすい道路【4件】	・彦根市街地からのアクセス道路が不便だと思う(彦根より南へ行く時)。
	道路整備により影響する家屋が少ない道路【2件】	・現在の国道8号線でお客様の商売をしている店舗に配慮。
	事業費が経済的な道路【3件】	・費用(投資)対効果を考えるべき。
その他	早期着工・早期整備に関する意見【16件】	・早期実現なルートを優先。絶対実現してほしい。 ・スピードが大事です。速やかに施策を進めていただきたい。
	将来動向やまちづくりに関する意見【9件】	・各市町が発展するための道路になってほしい。
	災害・大雨・積雪等に関する意見【4件】	・エリア的に積雪に対する準備も必要と考える。
	東西道路の機能強化に関する意見【9件】	・湖東愛知川線など、色々の支線の高架を望みます。
	ルート帯に関する意見【17件】	・道幅の広い道路が作れる場所を選んでほしい。
	道路構造に関する意見【9件】	・信号交差点を少なくする対策として、立体交差点の拡充。
	反対意見【2件】	・立退きしてまで建設する必要はない。
その他【6件】	・完成時期をはっきりしておく必要があります。	

※総延べ回答数：140件

3-2. 意見聴取の結果 事業所への調査票(自由意見)

- 「渋滞に関する意見」が多い。
- その他については、「早期着工・早期整備」、「東西道路の機能強化」、「ルート帯」に関する内容が多い。

自由意見

【問6】その他、国道8号彦根～東近江について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

分類	主な意見	
産業振興に関する意見【6件】	・湖南・水口の1号線バイパスのように物流道路にしてほしい。 ・国道8号線、野洲まで時間がかかりすぎ。早急のバイパス願います。トラック輸送が気の毒です。	
渋滞に関する意見【60件】	・国道8号線が渋滞していると、県道や市道から8号線になかなか出られないから、解消してほしい。 ・渋滞区間(御幸橋、高宮、西沼波等)の解消に努めてほしい。	
交通安全に関する意見【11件】	・地域住民が喜ぶように建設するために、やはり交通事故が少なくなり、スムーズに移動できる道路が必要。 ・この区間の通り抜け車両に回避してほしいので、大型車等が走りやすい整備が必要。	
観光振興に関する意見【2件】	・観光シーズンの市内の渋滞を解消するような道路整備をお願いします。 ・慢性的渋滞感がある。桜シーズンは特に混みあうので何とかしてほしい。	
自然環境に関する意見【1件】	・自然環境を壊し過ぎです。	
既成市街地からのアクセス性に関する意見【3件】	・単に幹線だけでなく、近くの市町にも行きやすくなる道も一緒に作って欲しい。	
その他	早期着工・早期整備に関する意見【32件】	・国道で何か起きた時には、完全に機能しなくなるので、早く対応していただきたい。 ・早急に実現してほしいものです。国道でありながら、他の県と比べ物にもならないくらい道幅が狭く、悪い道です。
	将来動向やまちづくりに関する意見【10件】	・もう少し年月が経過したら人口減で交通量も減ると思うので、その点を最大に考査してください。
	災害・大雨・積雪等に関する意見【6件】	・冬期の凍結、積雪対策についても考慮しておいてほしい。
	東西道路の機能強化に関する意見【20件】	・国道8号線の整備と同時に、交差する主要道路も整備していかないと効果がない。
	ルート帯に関する意見【29件】	・今の国道は生活圏の中心をとおっているの、バイパス風の利用しやすい新道が必要と思う。
	道路構造に関する意見【8件】	・合流が多いと流れが悪くなるので、合流を極力減らすべき。
	反対意見【3件】	・県道2号や湖岸、愛知川沿いの現在の道をつかえば十分。ナビやGPSで渋滞を回避するシステムを開発した方が全国で使える。
その他【9件】	・この地域は特に、車がなければ生活しにくい。利便性の高い開発をしてもらいたい。 ・コストばかりに目を向けなくて、利便性をとってほしい。	

※総延べ回答数:200件

3-3. 意見聴取の結果 関係団体ヒアリング(業種別の傾向)

- 政策目標に掲げる「産業振興の促進」、「渋滞の緩和」、「交通安全の確保」に関する内容は、全ての業種かつ全ての団体であげられており、重視すべき項目である。また、「観光振興の促進」についても7業種中、6業種に関係する全ての団体であげられた。
- 配慮事項に掲げる「生活環境(騒音、大気汚染)への影響」、「影響する家屋」に関する内容は、5業種に関係する全ての団体であげられた。
- その他については、「東西道路の機能強化」に関する内容が5業種に関係する全ての団体であげられた。

■ 関係団体ヒアリングにおける重視すべき項目等への言及の状況

凡例 ●: 全ての団体から言及あり、△: 一部の団体から言及あり、-: 全ての団体から言及なし

意見分類		業種	自治体 (7自治体)	経済団体 (8団体)	観光協会 (6団体)	トラック協会 (1団体)	バス協会 (1団体)	警察機関 (3団体)	消防機関 (2団体)
政策目標	産業振興を支援する道路		●	●	●	●	●	●	●
	渋滞の緩和に寄与する道路		●	●	●	●	●	●	●
	交通安全の確保に寄与する道路		●	●	●	●	●	●	●
	観光振興を支援する道路		●	●	●	●	●	●	△
配慮事項	生活環境(騒音、大気汚染)に配慮し、できる限り影響を回避した道路		△	△	●	●	●	●	●
	自然環境(動物、植物、生態系)に配慮し、できる限り影響を回避した道路		△	△	△	●	●	△	●
	既成市街地からのアクセスしやすい道路		△	△	●	●	●	△	△
	道路整備により影響する家屋が少ない道路		△	△	●	●	●	●	●
	事業費が経済的な道路		△	△	△	-	●	-	-
その他(着工時期・整備時期に関する意見)			△	△	△	●	●	-	△
その他(東西道路の機能強化に関する意見)			●	△	△	●	●	●	●

3-3. 意見聴取の結果 関係団体ヒアリング(業種別の傾向)

- 分類別の主な意見は以下のとおりである。
- その他については、「早期着工・早期整備」、「東西道路の機能強化」に関する内容がある。

分類		関係団体ヒアリングにおける主な自由意見
政策目標	産業振興を支援する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸方面へのアクセス性が良いため、彦根や東近江に倉庫が増えた。今後も工場進出が続く傾向にあると思うが、道路が今のままだと進出しなくなる恐れがある。【トラック協会】 ・3つのルートのだれということではないが、この地域は物流企業や大手企業(製造業)が多く立地しているため、通勤車両も含めて交通量が多い。経済にも直結するため、早く道路を整備してほしい。【経済団体】
	渋滞の緩和に寄与する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞時には迂回しようにも選択肢がなく、なにかあるとすぐに渋滞してしまうため代替路が欲しい。【トラック協会】 ・現道の国道8号は外町交差点、高宮町交差点、御幸橋での渋滞が著しい。特に通勤時間帯は御幸橋における渋滞が顕著なので、この道路ができれば渋滞は解消されると思う。【経済団体】
	交通安全の確保に寄与する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号の渋滞により中山道を通行する車が非常に多い。中山道では幅員の狭い所をトラックが通るため、すれ違い事故が発生している。渋滞を解消し、中山道への通過交通の流入を防ぐためにも道路整備は効果的。【警察機関】 ・国道8号拡幅ルートや都市計画道路活用ルートは沿道店舗や既存の住宅地を通るので難しいと思うが、山側ルートは事故も少なくなると考えられるため良いと思う。【経済団体】
	観光振興を支援する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパスが整備されれば、SICを更に活用でき、観光振興につながる。【観光協会】
配慮事項	生活環境(騒音、大気汚染)に配慮し、できる限り影響を回避した道路	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックは停車中でも振動等が発生するので、大気・騒音・振動等の生活環境は自動車がスムーズに流れれば、今より改善されると思う。【トラック協会】
	自然環境(動物、植物、生態系)に配慮し、できる限り影響を回避した道路	<ul style="list-style-type: none"> ・自然も観光資源の一つであるのでルート帯を検討する際には配慮してほしい。【観光協会】
	既成市街地からのアクセスしやすい道路	<ul style="list-style-type: none"> ・消防の立場としては、救急搬送先である病院へのアクセスが重要。既成市街地などに点在する病院へのアクセス性が悪くならないようにしてほしい。【消防機関】
	道路整備により影響する家屋が少ない道路	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの家屋に影響があると、事業にかかる時間にも影響があるので、一刻も早く進めていただきたいという考えを踏まえると家屋が少ない道路についても特に重視して欲しい。【観光協会】
	事業費が経済的な道路	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費を抑える取り組みもして欲しい。【自治体】
その他(早期着工・早期整備に関する意見)		<ul style="list-style-type: none"> ・今まで我慢してきたので、早く整備してほしい。【トラック協会】
その他(東西道路の機能強化に関する意見)		<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけコストを抑えて、南北とあわせて効果的に東西のアクセスをよくしてほしい。【経済団体】

3-4. 第2回意見聴取の結果のとりまとめ

◇対策案を選ぶ際に重視すべき事項

- ルート帯について、住民等・事業所とも、「効果的だと思う(効果的+やや効果的)」割合が約8割を占めており、「効果的だと思わない(効果的ではない+あまり効果的でない)」割合は、1割を下回る。
- 住民等・事業所へのアンケート調査及び関係団体へのヒアリング結果に共通するものとして、政策目標に関する事項については「**産業振興の促進**」、「**渋滞の緩和**」、「**交通安全の確保**」、配慮事項に関しては「**生活環境(騒音、大気汚染)への影響**」に関する内容が多く、重視すべき事項とするのが妥当。
- それに加えて、住民等・事業所へのアンケート調査結果では配慮事項に関して、「**市街地からのアクセス**」、関係団体へのヒアリング結果では政策目標に関する事項について、「**観光振興の促進**」、配慮事項に関しては、「**影響する家屋**」に関する内容が多く、重視すべき事項とするのが妥当。
- その他については、「**早期着工・早期整備**」、「**東西道路の機能強化**」、「**ルート帯**」に関する内容が多い。

4. 対応方針(案)の検討

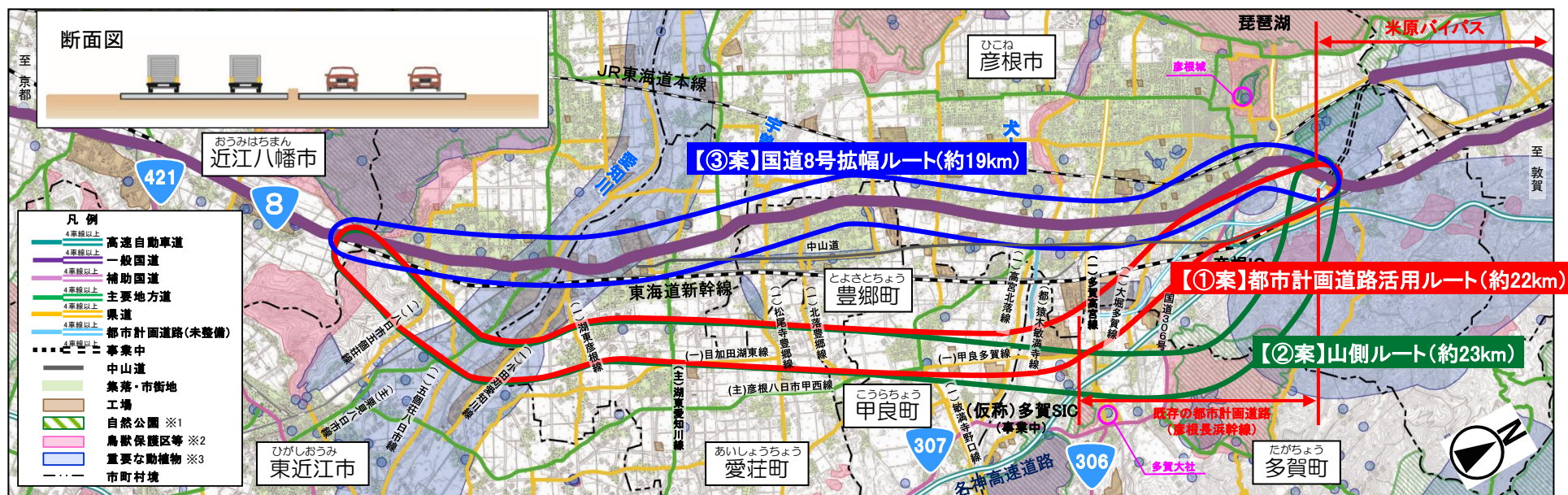
4-1. 対応方針(案)の検討<複数案の比較>

◇ルート帯案

【①案】都市計画道路活用ルート ……既存の都市計画道路幅(彦根長浜幹線)を最大限活用したバイパスにより交通容量を拡大する案

【②案】山側ルート ……支障移転による既成市街地への影響を最小限に抑えるため、彦根市街地の山側に導入したバイパスにより交通容量を拡大する案

【③案】国道8号拡幅ルート ……現道(対面2車線)を4車線に拡幅(一部、立体交差)し、交通容量を拡大する案



※1: 国定公園、県立自然公園、※2: 鳥獣保護区、ラムサール条約登録湿地、保護水面、保安林、緑地環境保全地域、ヨシ群落保全地域、生息・生育地保護区、※3: 重要な動物種、重要な植物種(巨樹・巨木林・天然記念物)、重要な植物群落

参考文献: 重要な動物種の既存資料: 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 滋賀県(昭和54-56年、環境庁)他 / 鳥獣保護区の既存資料: 平成28年度狩猟者必携滋賀県鳥獣保護区等位置図(平成28年11月、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課) / ラムサール条約登録湿地・ラムサール条約と条約湿地(平成29年6月、環境省) / 保護水面: 保護水面・禁止区域(平成27年10月、滋賀県農政水産部水産課) / 重要な植物群落の既存資料: 第2回自然環境保全基礎調査(昭和55年、環境庁)他 / 巨樹・巨木林の既存資料: 第4回自然環境基礎調査Web-GIS(平成29年6月、環境省)、第6回自然環境基礎調査Web-GIS(平成29年6月、環境省) / 天然記念物の既存資料: 彦根市 文化財情報(平成29年1月、彦根市)、指定文化財(平成29年6月、多賀町)、文化財一覧(平成29年6月、甲良町)、指定等文化財(平成28年4月、近江八幡市)、文化財一覧(平成25年、東近江市) / 滋賀県内の自然公園(平成21年、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課)

4-2. 対応方針(案)の検討<複数案の比較評価>

3つの案の比較結果

評価軸		①案 都市計画道路活用ルート	②案 山側ルート	③案 国道8号拡幅ルート
案の概要		既存の都市計画道路幅(彦根長浜幹線)を最大限活用したバイパスにより交通容量を拡大する案	支障移転による既存市街地への影響を最小限に抑えるため、彦根市街地の山側に導入したバイパスにより交通容量を拡大する案	現道(現況対面2車線)の交通渋滞の緩和を考慮し、4車線に拡幅(一部、立体交差)し、交通容量を拡大する案
政策目標	産業振興の促進	○ ・国道8号の東側にバイパス整備を行い、彦根ICへの更なるアクセスルートを確認し、既存の国道8号の交通負荷を低減することによって、彦根ICへのアクセス性や定時性が向上する。 ・バイパスからのランプ交差点が彦根ICランプ交差点直近に新設されるため、新たな渋滞の懸念がある。	◎ ・国道8号の東側にバイパス整備を行い、通過交通を排除し、既存の国道8号の交通負荷を低減することによって、彦根ICへのアクセス性や定時性が向上する。 ・(仮称)多賀SIC(事業中)へのアクセス性及び定時性に最も優れる。	△ ・国道8号の渋滞緩和により、彦根ICへの定時性が向上するが、信号交差点数は現状とほぼ変わらないため、効果は小さい。
	渋滞の緩和	○ ・バイパスに現道交通が転換することにより、国道8号の交通量が低減され、主要渋滞交差点の渋滞緩和が期待できる。	○ ・バイパスに現道交通が転換することにより、国道8号の交通量が低減され、主要渋滞交差点の渋滞緩和が期待できる。	○ ・長距離移動と短距離移動の交通が混在するが、交通容量が増加するため、主要渋滞交差点の渋滞状況が現在に比べると緩和されることが期待できる。
	交通安全の確保	○ ・国道8号の交通量が低減され、交通事故の低減が期待できる。 ・周辺の生活道路(中山道等)への抜け道として利用する交通の進入が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。	○ ・国道8号の交通量が低減され、交通事故の低減が期待できる。 ・バイパスの交差点の数が少なく、安全性に優れる。 ・周辺の生活道路(中山道等)への抜け道として利用する交通の進入が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。	△ ・長距離移動と短距離移動の交通が混在するため、事故の懸念が残る。 ・周辺の生活道路(中山道等)への抜け道として利用する交通の進入が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。
	観光振興の促進	○ ・バイパスを整備することにより、地域の交通状況が改善され、観光地間の連携強化が期待できる。	○ ・バイパスを整備することにより、地域の交通状況が改善され、観光地間の連携強化が期待できる。	△ ・現道の拡幅整備により、地域の交通状況は改善されるものの、信号交差点数は現状とほぼ変わらないため、観光地間の連携に対する効果は小さい。
配慮事項	生活環境(大気・騒音等)への影響	△ ・一部集落・市街地を通過するため、大気・騒音等の生活環境への影響が懸念される。	○ ・集落・市街地を概ね回避するため、大気・騒音等の生活環境への懸念が少ない。	△ ・集落・市街地を通過するため、大気・騒音等の生活環境への影響が懸念される。
	自然環境(動物・植物・生態系)への影響	○ ・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への懸念が少ない。	○ ・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への懸念が少ない。	○ ・現道を導入空間とするため、自然環境への懸念が少ない。
	市街地からのアクセス	○ ・既存市街地(彦根市街地)からのアクセス性に優れる。	△ ・既存市街地(彦根市街地)の外縁部を通るため、アクセス性に劣る。	○ ・既存市街地(彦根市街地)からのアクセス性は現状と変わらない。
	移転等が必要な家屋数	△ 約250棟	○ 約50棟	× 約450棟
	コスト	× 約1,500億円	△ 約1,400億円	○ 約1,200億円

比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載している。

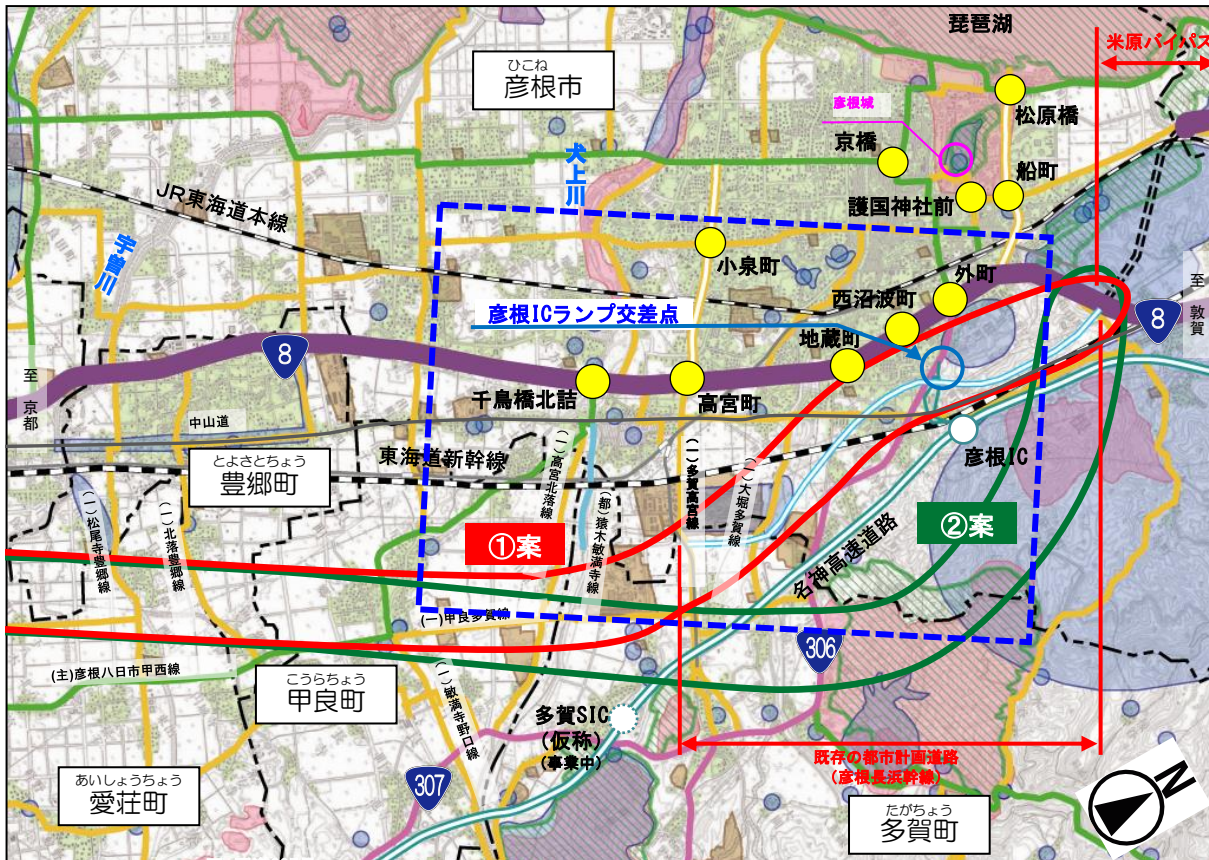
【凡例】 ◎:かなり改善・満足する ○:改善・満足する △:一部改善・満足する ×:他案に比べて劣る

意見聴取で重視されている上位の項目

4-3. 対応方針(案)の検討 <彦根市街地から新たなバイパス及び高速道路ICへのアクセス性>

【①案】都市計画道路活用ルートと【②案】山側ルートとの比較

- 【①案】は、既成市街地（彦根市街地）からのアクセス性に配慮すると、彦根ICランプ交差点付近に交差点を新設することから、彦根IC周辺の渋滞を悪化させる懸念がある。
- 【②案】は、既成市街地（彦根市街地）の外縁部を通るためアクセス性に劣るが、多賀SICへのアクセス性・定時制に優れ、彦根ICを利用する交通が多賀SICに分散することで、彦根IC周辺の渋滞緩和が期待される。



社会資本整備審議会 道路分科会 第17回近畿地方小委員会資料
(平成28年12月21日) より抜粋

彦根市街地の渋滞状況



※出典：民間プローブデータ H27年9～11月平日 平均、朝ピーク時（7～9時）、夕ピーク時（17～19時）のうちの速度が低いピーク時の旅行速度

4-4. 対応方針(案)の検討

◇対応方針(案)

- 地域の意見聴取結果において、政策目標に関しては「産業振興の促進」、「渋滞の緩和」、「交通安全の確保」、「観光振興の促進」の全てについて重視すべきとする意見が多く寄せられており、「【①案】都市計画道路活用ルート」及び「【②案】山側ルート」が適している。
- 配慮事項としては、「生活環境への影響」、「市街地からのアクセス」、「影響する家屋」への配慮を望む意見が多く寄せられており、「【②案】山側ルート」は、特に「生活環境への影響」、「影響する家屋」に対して配慮することができる。

総合的に判断して「【②案】山側ルート」が適していると考える。



※1: 国定公園、県立自然公園、※2: 鳥獣保護区、ラムサール条約登録湿地、保護水面、保安林、緑地環境保全地域、ヨシ群落保全地域、生息・生育地保護区、※3: 重要な動物種、重要な植物種(巨樹・巨木林・天然記念物)、重要な植物群落

参考文献: 重要な動物種の既存資料: 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 滋賀県(昭和54-56年、環境庁)他 / 鳥獣保護区の既存資料: 平成28年度狩猟者必携滋賀県鳥獣保護区等位置図(平成28年11月、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課) / ラムサール条約登録湿地: ラムサール条約と条約湿地(平成29年6月、環境省) / 保護水面: 保護水面・禁止区域(平成27年10月、滋賀県農政水産部水産課) / 重要な植物群落の既存資料: 第2回自然環境保全基礎調査(昭和55年、環境庁)他 / 巨樹・巨木林の既存資料: 第4回自然環境基礎調査Web-GIS(平成29年6月、環境省)、第6回自然環境基礎調査Web-GIS(平成29年6月、環境省) / 天然記念物の既存資料: 彦根市文化財情報(平成29年1月、彦根市)、指定文化財(平成29年6月、多賀町)、文化財一覧(平成29年6月、甲良町)、指定等文化財(平成28年4月、近江八幡市)、文化財一覧(平成25年、東近江市) / 滋賀県内の自然公園(平成21年、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課)

5. 自治体への意見照会

5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する意見〕

◇自治体意見照会の回答(要旨)

自治体	意見
滋賀県	<p>国道8号(彦根～東近江)の計画段階評価における対応方針(案)に同意します。</p> <p>本路線は、国道8号の彦根市街地や愛知川渡河部等における慢性的な渋滞の緩和を図り、効率的な企業活動による生産性の向上、交通安全の確保、点在する観光地をスムーズに結ぶことによる観光振興、さらには湖東地域の良好なまちづくりを行う上で重要な道路です。</p> <p>つきましては、今後、必要な手続きを着実に進め、一日も早く事業化されるようお願いいたします。滋賀県においても地元市町と連携し、早期事業着手に向け、都市計画手続き等を進めるとともに、事業化の際には、現国道8号、名神高速道路等とのアクセス機能の強化を図り、地元市町とともにバイパス機能の確保に十分配慮した沿道の計画的なまちづくりに努めてまいります。</p> <p>また、本事業に係る「計画段階環境配慮書の案」に対する環境の保全の見地からの意見については、次のとおりです。</p> <p>配慮書以降の図書において、路線選定の経緯を適切に記載するとともに、大気環境(大気質、騒音、振動等)、水環境(水質、地下水等)、土壌環境、動植物および生態系、景観、文化財・伝承文化、廃棄物、温室効果ガスの環境への影響などの環境要素を適切に選定し、調査、予測および評価を行い、本事業の実施による環境影響を回避または極力低減してください。</p>
<small>ひこね</small> 彦根市	<p>「彦根～東近江」の計画段階評価における対応方針(案)について同意します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現国道8号の彦根市外町から一級河川犬上川の渡河部までの区間は、特に渋滞が著しく、バイパス道路整備により物流交通の分散されることで利便性向上が期待できます。また、災害時発生時の避難・輸送路、消火・救急車両の通行ルート¹の拡充が図られるものであり、早期事業化をお願いいたします。 2 早期事業化に向けて、関係機関や地元調整等の協力はもとより、近隣の関係市町や県と協力し、名神高速道路インターチェンジへのアクセス性向上や、既成市街地のほか、物流拠点や観光拠点とを結ぶ道路ネットワークの強化を図り、バイパス機能の確保に配慮したまちづくりに努めてまいります。 3 計画を具体化していただく際は、大気や騒音等による生活環境への影響について回避・低減に努めていただくほか、ルート帯は山間地を通過するため、生息・生育環境、景観への配慮もお願いいたします。

5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する意見〕

◇自治体意見照会の回答(要旨)

自治体	意見
<p>おうみはちまん 近江八幡市</p>	<p>国道8号(彦根～東近江)の計画段階評価における対応方針(案)について、同意します。</p> <p>本路線は、江戸時代以前から京都と北陸地方とを結ぶ要路であり、現在においても国土の基幹道路として地域の経済活動の発展に大いに貢献し、豊かな生活の実現を図るために必要不可欠な都市基盤施設となっています。</p> <p>また、名神高速道路とともに、重要物流道路に指定され、滋賀県の緊急輸送道路にも位置づけられており、平時、緊急時を問わず地域間を連結する主要幹線ネットワークの根幹を成す重要な基幹道路となっていることから、切れ目のない道路整備によるボトルネックの解消が不可欠であることから、一日でも早い供用に向け早期事業化をお願い申し上げます。</p> <p>なお、今後の関係機関及び地元調整等につきましては、本市としましても引き続き協力して参りますので、周辺の住環境、市民生活に対しまして十分ご配慮いただき、必要な手続きを進めていただきますよう重ねてお願い申し上げます。</p>
<p>ひがしおうみ 東近江市</p>	<p>「国道8号(彦根～東近江)」の計画段階評価における対応方針(案)について、同意します。</p> <p>国道8号の御幸橋南詰の慢性的な渋滞は、本線のみならず、接続する周辺道路にも著しく影響を及ぼしています。このバイパス道路整備によって、渋滞緩和につながり、市民生活等の利便性は格段に向上することが期待されています。また、本計画路線は、これらの交通に関する諸課題の解消を図るとともに、一級河川愛知川に架かる橋梁が少ない中、災害に強い通行ルートを確立させるために、早期整備が望まれる大変重要な道路であります。</p> <p>本市としましては、関係市町や県と連携し、地元及び関係機関との調整を行い、本路線及び周辺アクセス道路の機能強化が図れるよう取り組んでまいります。</p> <p>更に道路ネットワークの強化に取組み、地域活性化に繋げてまいりますので、全線開通に向けた早期事業化をお願いいたします。</p> <p>なお、事業実施に向けては、大気質、騒音、水質等の生活環境への影響に配慮するとともに、重要な動植物の生態系や景観にも配慮した自然環境等、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。</p>

5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する意見〕

◇自治体意見照会の回答(要旨)

自治体	意見
あいしょうちょう 愛荘町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道8号バイパス(東近江～彦根区間)における近畿地方整備局としての対応方針(案)に同意します。 ・ 当該区間は農業振興地域、集落を通過することから、農業振興地においては地域の生活環境および自然環境への影響をできるかぎり回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。 ・ 本区間の早期整備による慢性的な交通渋滞の解消およびストック効果に期待します。交通渋滞の解消は当町の積年の課題であることから、本区間の国による早期事業化に向けて関係機関協議や地元調整に協力し、アクセス道路となる東西道路の機能強化、バイパス機能の確保を求め、効果を最大限発揮するまちづくりを進めてまいります。
とよさとちょう 豊郷町	<p>「国道8号バイパス(近江八幡～彦根)」の計画段階評価における対応方針(案)に同意します。</p> <p>本計画路線は、国道8号の慢性的な渋滞、産業活動の停滞、災害時のネットワーク強化等、湖東圏域の交通諸問題が解決でき早期整備が望まれている大変重要な道路です。</p> <p>湖東圏域では東西の道路整備が遅れておりますが、本町でも整備に向けて、滋賀県道路整備アクションプログラム2018に記載したところです。</p> <p>また、都市計画や土地利用計画が策定されていない本町ですが、地域の発展も期待しつつもバイパス機能の確保に十分配慮したまちづくりを推進して参りますとともに、事業が円滑に推進できるよう、関係機関協議や地元調整等も引き続き協力してまいりますので、必要な手続きを着実に進めていただき、早期に事業化されますようお願いいたします。</p> <p>なお、事業実施に向けては、地域の生活環境や自然環境への影響をできる限り回避、低減に努めていただきますようお願いいたします。</p>
こうらちょう 甲良町	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国道8号(彦根～東近江市)における近畿地方整備局としての対応方針(案)に、当町としては同意します。 2. 本区間の国における早期事業化が図られますよう関係機関協議や地元調整に協力し、アクセス道路となる東西道路の機能強化、バイパス機能の確保に十分配慮したまちづくりを進めてまいります。 3. 事業実施に向けて、当町を通過するため、大気質、水環境、騒音等の生活環境への影響に配慮するとともに、農産業に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。

5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する意見〕

◇自治体意見照会の回答(要旨)

自治体	意見
たがちよう 多賀町	<p>「国道8号ルート帯案」の計画段階評価における対応方針(案)に同意します。</p> <p>本路線は、国道8号の慢性的な渋滞の解消を図るとともに、国道8号の代替路線として地域の発展に欠かせない道路です。</p> <p>今回、本ルートが対応方針(案)として示されたことは、事業化へ大きく前進するものであり、歓迎するものです。多賀町においても、名神高速道路の広域的な交通ネットワークを活かしたまちづくりに取り組んでおり、2023年には(仮称)多賀スマートインターチェンジが供用開始予定となっています。本ルートが実現した際には名神高速道路とスマートインターチェンジを介してアクセスが容易になるとともに、国道306、307号などの主要な地方道路が接続されることにより、国道8号の慢性的な渋滞の解消ならびに、更なる周辺地域の産業および観光両面での発展に大きな期待が持てます。</p> <p>事業の実施に向けては、動植物の生息・生育地等の自然環境に配慮するとともに、周辺の住環境や住民生活への影響をできる限り回避・低減するよう努めていただきますようお願いいたします。また、多賀町には周知の遺跡範囲に指定している箇所もあることから文化財に対しても十分ご配慮いただきますよう重ねてお願いいたします。</p> <p>今後も、早期事業化に向けて関係機関や地元調整に協力し、アクセス道路となる東西道路の機能強化、バイパス機能の確保に十分配慮したまちづくりを進めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>

5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する意見〕

◇自治体意見照会の回答〔滋賀県〕



滋 高 幹 第 1 7 号
令和元年(2019年)6月7日

国土交通省
近畿地方整備局長 様

滋賀県知事 三日月 大造



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

令和元年6月3日付け国近整道一計第6号で意見照会のありましたこのことについて、別紙のとおり回答します。

別紙

国道8号(彦根～東近江)の計画段階評価における対応方針(案)に同意します。
本路線は、国道8号の彦根市街地や愛知川渡河部等における慢性的な渋滞の緩和を図り、効率的な企業活動による生産性の向上、交通安全の確保、点在する観光地をスムーズに結ぶことによる観光振興、さらには湖東地域の良好なまちづくりを行う上で重要な道路です。

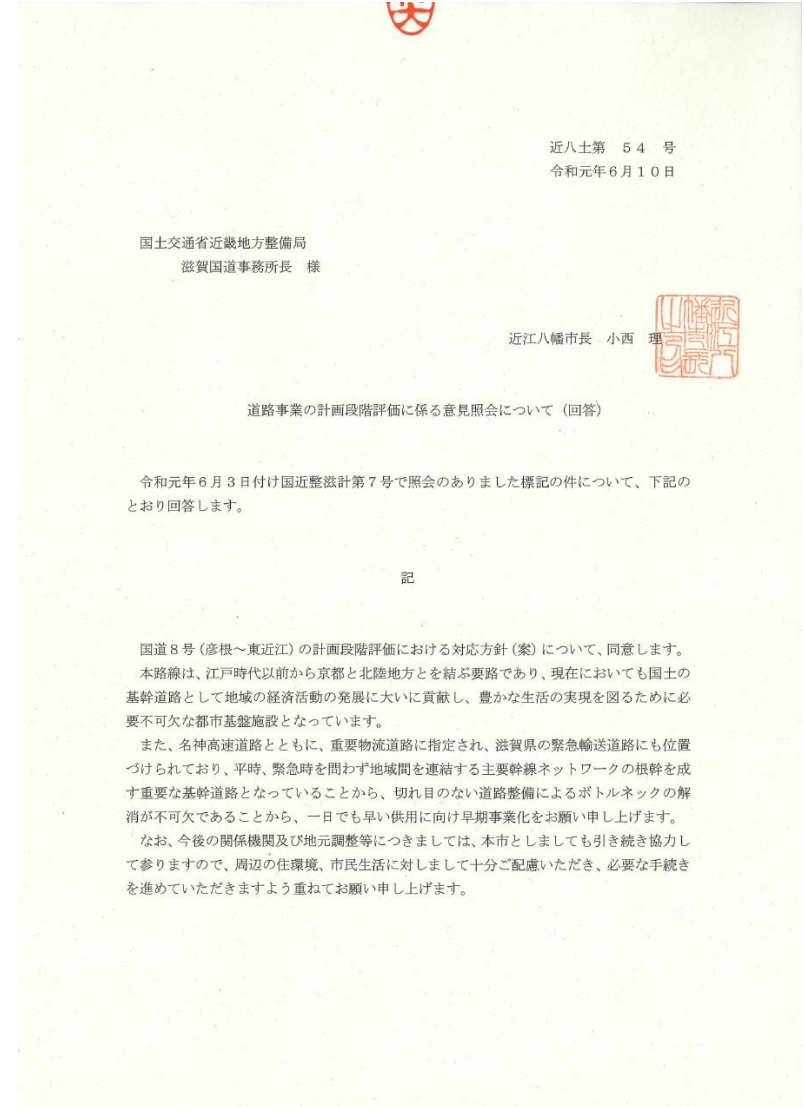
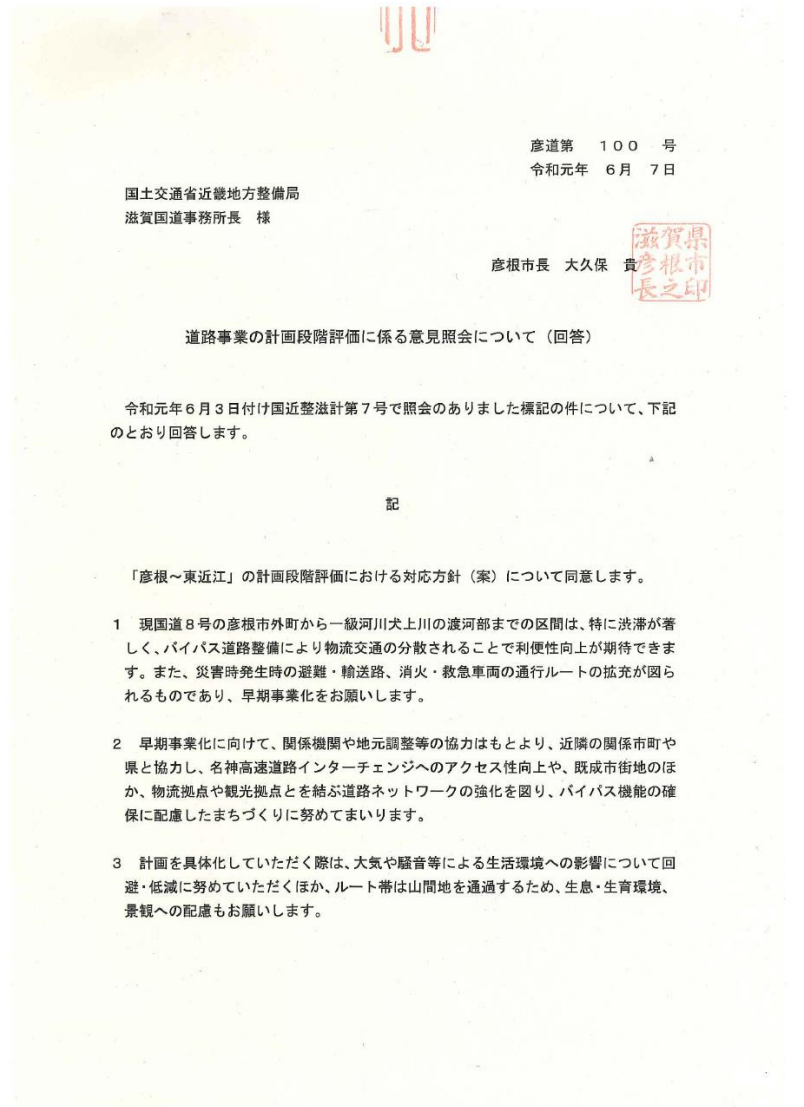
つきましては、今後、必要な手続きを着実に進め、一日も早く事業化されるようお願いいたします。滋賀県においても地元市町と連携し、早期事業着手に向け、都市計画手続き等を進めるとともに、事業化の際には、現国道8号、名神高速道路等とのアクセス機能の強化を図り、地元市町とともにバイパス機能の確保に十分配慮した沿道の計画的なまちづくりに努めてまいります。

また、本事業に係る「計画段階環境配慮書の案」に対する環境の保全の見地からの意見については、次のとおりです。

配慮書以降の図書において、路線選定の経緯を適切に記載するとともに、大気環境(大気質、騒音、振動等)、水環境(水質、地下水等)、土壤環境、動植物および生態系、景観、文化財・伝承文化、廃棄物、温室効果ガスの環境への影響などの環境要素を適切に選定し、調査、予測および評価を行い、本事業の実施による環境影響を回避または極力低減してください。

5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する意見〕

◇自治体意見照会の回答〔彦根市、近江八幡市〕



5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する意見〕

◇自治体意見照会の回答〔東近江市、愛荘町〕

ひがしおうみ

あいしょうちょう



東都基第 126 号
令和 元年 6月10日

愛建 第 2841 号
令和元 (2019) 年6月4日

国土交通省近畿地方整備局
滋賀国道事務所長 様

国土交通省 近畿地方整備局
滋賀国道事務所長 様

東近江市長 小 椋 正



愛荘町長 有 村 国 知



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答)

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答)

令和元年6月3日付け、国近整滋計第7号で照会のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

令和元年6月3日付け国近整滋計第7号で意見照会のありましたことについて、下記のとおり回答します。

記

記

「国道8号(彦根～東近江)」の計画段階評価における対応方針(案)について、同意します。

国道8号の御幸橋南詰の慢性的な渋滞は、本線のみならず、接続する周辺道路にも著しく影響を及ぼしています。このバイパス道路整備によって、渋滞緩和につながり、市民生活等の利便性は格段に向上することが期待されています。また、本計画路線は、これらの交通に関する諸課題の解消を図るとともに、一般河川愛知川に架かる橋梁が少ない中、災害に強い通行ルートを確認させるために、早期整備が望まれる大変重要な道路であります。

本市としましては、関係市町や県と連携し、地元及び関係機関との調整を行い、本路線及び周辺アクセス道路の機能強化を図れるよう取り組んでまいります。

更に道路ネットワークの強化に取組み、地域活性化に繋げてまいりますので、全線開通に向けた早期事業化をお願いします。

なお、事業実施に向けては、大気質、騒音、水質等の生活環境への影響に配慮するとともに、重要な動植物の生態系や景観にも配慮した自然環境等、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。

- ・ 国道8号バイパス(東近江～彦根区間)における近畿地方整備局としての対応方針(案)に同意します。
- ・ 当該区間は農業振興地域、集落を通過することから、農業振興地においては地域の生活環境および自然環境への影響をできるかぎり回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。
- ・ 本区間の早期整備による慢性的な交通渋滞の解消およびストック効果に期待します。交通渋滞の解消は当町の積年の課題であることから、本区間の国による早期事業化に向けて関係機関協議や地元調整に協力し、アクセス道路となる東西道路の機能強化、バイパス機能の確保を求め、効果を最大限発揮するまちづくりを進めてまいります。

5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する意見〕

◇自治体意見照会の回答〔豊郷町、甲良町〕

とよさとちよう

こうらちよう



豊地整第259号
令和元年6月5日

国土交通省 近畿地方整備局
滋賀国道事務所長 様

豊郷町長 伊藤 定勉



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和元年6月3日付け国近整滋計第7号で照会のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

記

「国道8号バイパス（近江八幡～彦根）」の計画段階評価における対応方針（案）に同意します。

本計画路線は、国道8号の慢性的な渋滞、産業活動の停滞、災害時のネットワーク強化等、湖東圏域の交通諸問題が解決でき早期整備が望まれている大変重要な道路です。

湖東圏域では東西の道路整備が遅れておりますが、本町でも整備に向けて、滋賀県道路整備アクションプログラム2018に記載したところでは、

また、都市計画や土地利用計画が策定されていない本町ですが、地域の発展も期待しつつもバイパス機能の確保に十分配慮したまちづくりを推進して参りますとともに、事業が円滑に推進できるよう、関係機関協議や地元調整等も引き続き協力してまいりますので、必要な手続きを着実に進めていただき、早期に事業化されますようお願いいたします。

なお、事業実施に向けては、地域の生活環境や自然環境への影響をできる限り回避、低減に努めていただきますようお願いいたします。



甲建水第101号
令和元年6月5日

国土交通省 近畿地方整備局
滋賀国道事務所長 様

甲良町長 野瀬 喜久男



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

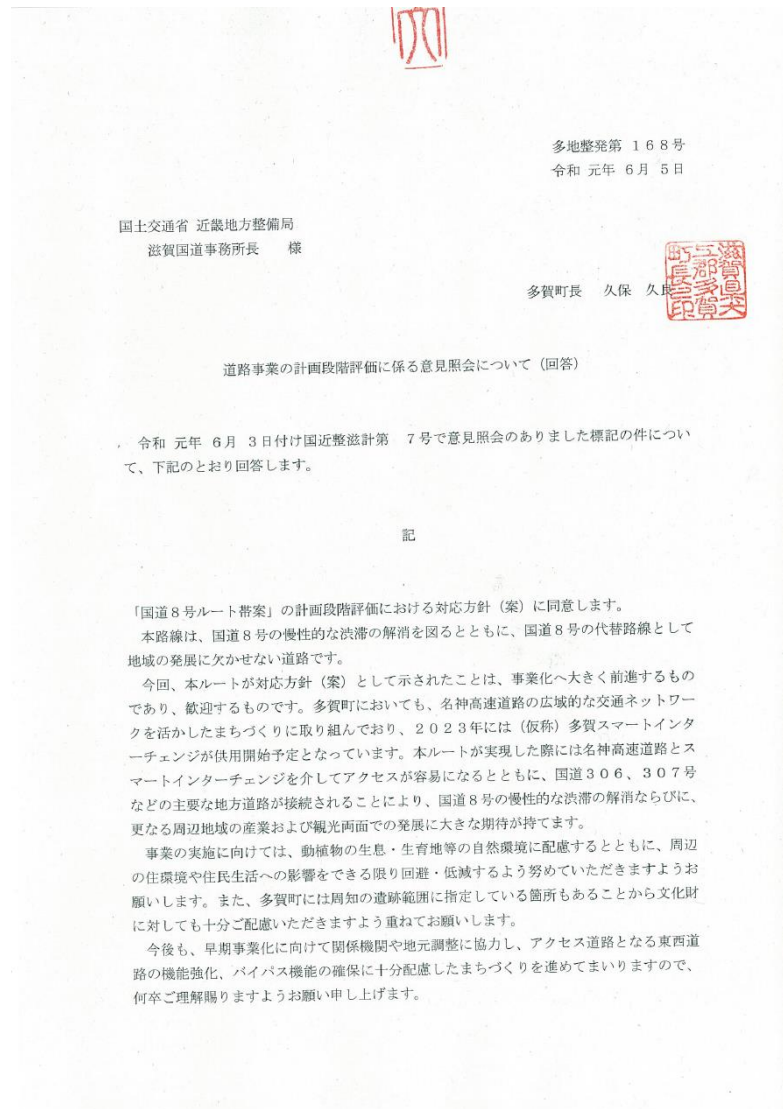
令和元年6月3日付け国近整滋計第7号で意見照会のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

記

1. 国道8号（彦根～東近江市）における近畿地方整備局としての対応方針（案）に、当町としては同意します。
2. 本区間の国における早期事業化が図られますよう関係機関協議や地元調整に協力し、アクセス道路となる東西道路の機能強化、バイパス機能の確保に十分配慮したまちづくりを進めてまいります。
3. 事業実施に向けて、当町を通過するため、大気質、水環境、騒音等の生活環境への影響に配慮するとともに、農産業に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。

5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する意見〕

◇自治体意見照会の回答〔^{たがちょう}多賀町〕



6. 対応方針(案)まとめ

6. 対応方針(案)

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる
道路整備を検討

【政策目標】

- 産業振興の促進
- 渋滞の緩和
- 交通安全の確保
- 観光振興の促進



【地域の意見聴取等の結果】

地域の課題	○ 地域が感じている国道8号の課題は、「渋滞による産業活動への影響」、「彦根市街地、愛知川を通る部分を中心とした渋滞」、「国道8号及び周辺道路での事故の発生」、「観光振興の促進」に関する内容が多い。
道路整備の必要性	○ 住民や事業所など、回答頂いた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。
ルート検討において重視すべき事項	○ 地域が感じているルート検討において重視すべき項目は、「産業振興の促進」、「渋滞の緩和」、「交通安全の確保」、「観光振興の促進」に関する内容が多い。 ○ その他、「生活環境(騒音、大気汚染)への影響」、「市街地からのアクセス」、「影響する家屋」に関する内容も、重視すべき項目としてあげられている。
自治体の意見	○ 滋賀県及び各関係自治体から、対応方針(案)に賛成するとともに早期事業化を要望するとの意見をいただいている。

2. 対応方針(案)

ルート帯案については、支障移転による既成市街地への影響を最小限に抑える「山側ルート」を対応方針案とする。

【理由】

- 「山側ルート」は、「産業振興の促進」、「渋滞の緩和」、「交通安全の確保」、「観光振興の促進」の全ての政策目標に寄与する。
- 地域の意見聴取結果において、政策目標に関しては「産業振興の促進」、「渋滞の緩和」、「交通安全の確保」、「観光振興の促進」の全てについて重視すべきとする意見が寄せられており、「都市計画道路活用ルート」及び「山側ルート」が適している。
- 配慮事項としては、「生活環境(騒音、大気汚染)への影響」、「市街地からのアクセス」、「影響する家屋」への配慮を望む意見が多く寄せられており、「山側ルート」は、特に「生活環境(騒音、大気汚染)への影響」、「影響する家屋」に対して配慮することができる。
- 従って、総合的に判断して「山側ルート」が適していると考えられる。

3. その他

- 詳細なルート・構造の検討にあたっては、コスト縮減に留意して検討を行うとともに、既存の道路状況や沿道利用状況を踏まえながら、新たに整備される道路と既存の道路の接続方法や計画地周辺の土地利用計画について、各関係自治体と調整を行う。

6. 対応方針(案)

◇ルート帯案

【案】山側ルート …支障移転による既成市街地への影響を最小限に抑えるため、彦根市街地の山側に導入したバイパスにより交通容量を拡大する案



※1: 国定公園、県立自然公園、※2: 鳥獣保護区、ラムサール条約登録湿地、保護水面、保安林、緑地環境保全地域、ヨシ群落保全地域、生息・生育地保護区、※3: 重要な動物種、重要な植物種(巨樹・巨木林・天然記念物)、重要な植物群落

参考文献: 重要な動物種の既存資料: 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 滋賀県(昭和54-56年、環境庁)他 / 鳥獣保護区の既存資料: 平成28年度狩猟者必携滋賀県鳥獣保護区等位置図(平成28年11月、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課) / ラムサール条約登録湿地: ラムサール条約と条約湿地(平成29年6月、環境省) / 保護水面: 保護水面・禁止区域(平成27年10月、滋賀県農政水産部水産課) / 重要な植物群落の既存資料: 第2回自然環境保全基礎調査(昭和55年、環境庁)他 / 巨樹・巨木林の既存資料: 第4回自然環境基礎調査Web-GIS(平成29年6月、環境省)、第6回自然環境基礎調査Web-GIS(平成29年6月、環境省) / 天然記念物の既存資料: 彦根市 文化財情報(平成29年1月、彦根市)、指定文化財(平成29年6月、多賀町)、文化財一覧(平成29年6月、甲良町)、指定等文化財(平成28年4月、近江八幡市)、文化財一覧(平成25年、東近江市) / 滋賀県内の自然公園(平成21年、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課)

7. 今後の流れ(案)

7. 今後の流れ(案)

【令和元年6月】

